

トーエネック ニュース

トーエネックニュースは年4回(1月・4月・7月・10月)発行です。



マスコットキャラクター
つながりん
No.15

発行 〒460-0008 名古屋市中区栄1-20-31
株式会社トーエネック 総務部 広報グループ
TEL 052-219-1906
ご意見・ご感想・お問い合わせなど お待ちしております。

本紙で紹介している
以外にも当社の最新
ニュースや施工実績を
HPでご覧いただけます。



新製品紹介

最新の開発製品を紹介します。

工場の廃液を減らす スカム減容化装置

特許出願中



当社は、金属加工工場における廃液処理の際に生成される「スカム」と呼ばれる含油廃棄物の容積を減らす「スカム減容化装置」を開発しました。

これまでの課題

金属加工工場では、切削・研削などに様々な潤滑油や加工油などを使用します。使用後の油分を含んだ廃液は、比重分離※により油分を取り出してリサイクルし、分離できなかった油を含む水分を無害化処理して廃棄します。比重分離を行う際、廃液を入れたタンク内で「スカム」と呼ばれる物質が生成されることがありますが、スカムは、様々な物質が複雑に結合しているため、無害化が困難で、産廃量の削減は難しいとされています。

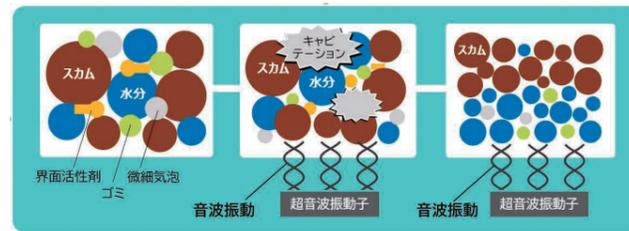
※…固体粒子の密度の差を利用した分離・選別方法

当社の解決策

当社の「スカム減容化装置」は、短時間で高い減容化効果が期待できる「超音波処理法」を応用し、スカム中に残る水分を分離して廃棄物の容積を減らします。

◆超音波処理法について

スカムに超音波を照射すると「キャビテーション」というスカムと他の物質の結合を破壊する物理的作用が生じます。この作用により、スカムより比重が大きい水分はスカムから分離され沈降します。処理後はスカムが水に浮いた状態になり、スカムを取り除くことが可能になります。



▲スカム減容化の仕組み

当社の「スカム減容化装置」の特長

- ・短時間で高いスカム減容化効果を実現(60分間の処理で40%減容化)したことで、産廃コストを削減します。
- ・薬品などを使わないため、環境に優しく、産廃処理に必要な薬品在庫の管理やpH調整などの付帯処理が不要です。
- ・装置へのスカム投入から処理後の分別排出まで全て自動で行うため、処理作業を省力化します。

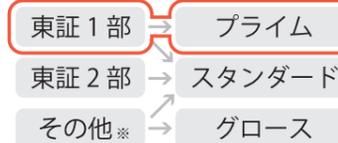
お問合せ先 技術研究開発部 ☎ 052-619-1707

IR情報 新市場区分における「プライム市場」 選択申請に関するお知らせ

当社は、新市場区分への移行に際し「プライム市場」を選択し、株式会社東京証券取引所(以下「東証」)に対して申請しました。引き続き高いガバナンス水準を維持し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

なお、当社は2021年7月9日付で東証より、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果を受領し、「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認しています。

新市場区分 上場イメージ
(赤枠が当社)



※ジャスダック、マザーズ

桑名営業所を新築移転



・新住所 〒511-0243
三重県員弁郡東員町穴太2841番1
・新電話番号 0594-86-2620

当社桑名営業所の新社屋が完成し、同営業所が移転しました。今回の新築移転により、BCP対策が強化され、災害時の復旧拠点としての機能向上や、配電線工事の施工能力向上を図ります。同営業所は、12月6日から営業を開始しています。



▲上休場社員

当社からは、電気職種に社員4人が出場しました。結果は、愛知県代表で出場した上休場社員が、敢闘賞を受賞しました。

技能五輪全国大会「電工」で敢闘賞

第59回技能五輪全国大会(主催…中央職業能力開発協会など)が、12月17日〜20日までの4日間、東京都で開催され、各都道府県の代表に選ばれた満23歳以下の若手技能者1028人が42職種で熱戦を繰り広げました。当社からは、電気職種に社員4人が出場しました。結果は、愛知県代表で出場した上休場社員が、敢闘賞を受賞しました。



災害対策本部立ち上げ訓練

当社は、本店に事業継続計画(以下、BCP)推進委員会を置き、同委員会を中心にBCP体制の整備に取り組んでいます。11月4日に、当社BCPを踏まえた有事の際の初動対応について、実施事項の可視化や対応体制の確保に向けた仕組みづくりの検証などを目的に、全社大で訓練を行いました。訓練では、平日に最大震度7の巨大地震が発生し、当社が事業拠点を置く愛知・静岡・三重の各県で甚大な被害が発生した設定で、当社各事業場ごとに設置した災害対策本部ごとにグループとなり、各グループで初動対応を整理し発表を行うなど、実際の災害発生時の状況をイメージした訓練に取り組みました。当社は、公益事業の一端を担う総合設備企業として、BCPの確実な実行に向け、今後も対策を進めてまいります。

連結業績につきましては、屋内線工事など一般得意先向けの売上が減少したことにより減収となりました。利益面につきましては、売上高の減少に伴う売上総利益の減少や、一般管理費の増加などにより、減益となりました。売上高は2期連続で減収、営業利益経常利益は5期ぶりに減益、純利益は2期連続の減益となりました。

連結・個別経営成績(単位:百万円)

	2022年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期	
	連結	個別	連結	個別
売上高	100,526 (△2.0%)	88,446 (△5.5%)	102,527 (△0.3%)	93,601 (△0.1%)
営業利益	5,087 (△22.8%)	3,829 (△29.9%)	6,593 (20.5%)	5,463 (20.7%)
経常利益	4,589 (△26.2%)	3,426 (△32.4%)	6,217 (24.2%)	5,068 (22.0%)
親会社株主に 帰属する四半期純利益 (個別は、四半期純利益)	3,026 (△26.5%)	2,321 (△31.0%)	4,115 (△5.6%)	3,363 (△12.5%)

※百万円未満切捨て ※%表示は対前年同四半期増減率

2022年3月期 第2四半期決算 (2021年4月1日〜2021年9月30日)

中部実業団対抗 駅伝競走大会

第61回中部実業団対抗駅伝競走大会が11月7日に愛知県田原市で開催され、中部地区から当社をはじめ8チームが出場しました。当社チームは3時間56分48秒でゴールし、10年連続12回目のニューイヤー駅伝出場を決めました。当社チームは、7区アンカーを務めた入部1年目の難波天選手が33分48秒で同区の区間新記録を出しました。

1区(12.0km)

服部弾馬 選手



チーム・個人3位
34分29秒

2区(8.3km)

竹内大地 選手



チーム5位・個人6位
24分10秒

3区(12.2km)

中西亮貴 選手



チーム6位・個人8位
36分06秒

4区(15.5km)

河合代二 選手



チーム6位・個人4位
45分31秒

5区(12.2km)

小山裕太 選手



チーム6位・個人7位
37分29秒

6区(8.5km)

河村一輝 選手



チーム6位・個人5位
25分15秒

7区(11.8km)

難波天 選手



チーム5位・個人1位
33分48秒

↑両大会で当社の難波選手が区間新記録を出しました↓

ニューイヤー駅伝 2022

ニューイヤー駅伝2022(第66回 全日本実業団対抗駅伝競走大会)が、群馬県前橋市で開催され、10年連続12回目の出場となる当社チームをはじめ、全国から37チームが出場しました。当社チームは2区の河村一輝選手が日本人の区間新記録、3区の難波天選手が区間新記録と好走し、昨年の21位から順位を上げて18位(記録:4時間58分06秒)でゴールしました。

1区(12.3km)

服部弾馬 選手



チーム・個人20位
35分11秒

2区(8.3km)

河村一輝 選手



チーム・個人18位
23分01秒

3区(13.6km)

難波天 選手



チーム12位・個人7位
37分36秒

4区(22.4km)

河合代二 選手



チーム12位・個人14位
1時間5分22秒

5区(15.8km)

中西亮貴 選手



チーム16位・個人26位
49分52秒

6区(12.1km)

河合拓巳 選手



チーム16位・個人18位
37分37秒

7区(15.5km)

竹内大地 選手



チーム18位・個人27位
49分27秒

トピックス 業務や作業の”かいぜん”に取り組んでいます。

当社は、業務効率化、コスト低減、安全性向上、職場環境改善などに向け、全社で「かいぜん活動」に取り組んでいます。今回は当社のかいぜん活動から生まれた事例をご紹介します。

工事用看板設置時の運搬方法のかいぜん

配電線工事の現場では、現場付近を通行される方々の安全を守るため「工事場所の50m手前」「工事により片側交互通行になる場所」「車両の停止位置」などの表示看板を設置します。表示看板は、工事の開始前に作業エリアの周囲に設置しますが、看板の設置と同時に作業エリアを確保するためのカラーコーンや看板の転倒防止用おもりなど、様々な物を設置します。

これまでは表示看板やカラーコーンなどを全て手で運んでいたため、作業車と設置場所の間を何往復もするなど、時間と労力を要していました。そこで「看板・カラーコーン・おもりを一括運搬できる台車」を作製しました。これにより、1回の設置作業に約7分強かっていたのが2分強に短縮でき作業効率向上につながりました。(当社試算)

当社は今回の事例の様に、日々自らが取り組む些細な作業でも、それが当たり前のことと捉えず、「ムダ・ムリ・ムラは無いか」かいぜんの目を持って業務にあたっています。



今までは工事用看板などを手作業で運んでいました。



一度に運べる台車を作製し、運搬作業が簡単になりました。

開発品イメージ▶

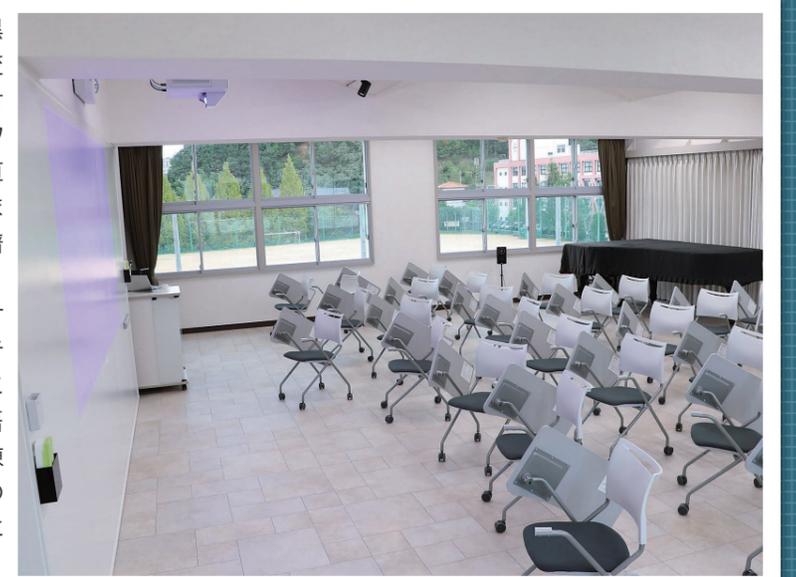
現場の足跡

最新の施工実績を紹介합니다。

近畿大学附属豊岡高等学校・中学校 音楽教室

近畿大学附属豊岡高等学校・中学校は、校内のICT環境整備の一環で音楽教室の改修工事を行いました。当社は、音楽教室のICT化を中心にリニューアル工事を施工しました。

施工メモ リニューアル工事では、従来の黒板を壁一面のホワイトボードに変更するとともに、電子黒板機能付きのプロジェクターを採用し、ホワイトボードへ映し出した映像に直接文字などを書き込むことができるようにしました。例えば、音楽の授業で大きく映した五線譜に音符を書き込むといった使い方が可能です。また、教室の遮音性を大幅に向上し、更にサウンドシステムを充実させるとともに遮光カーテンを設置するなどして映像と音の世界に浸ることができる空間をつくりました。これにより、英語のリスニング授業、演劇部やダンス同好会の練習、放送部の放送コンクールの練習など音楽の授業以外にも様々な用途で使用可能な教室になりました。



施工概要

■工事場所 兵庫県豊岡市戸牧100 ■工期 2021年7月26日～2021年9月25日